

ベビーカーをご使用いただく前にお読みください。

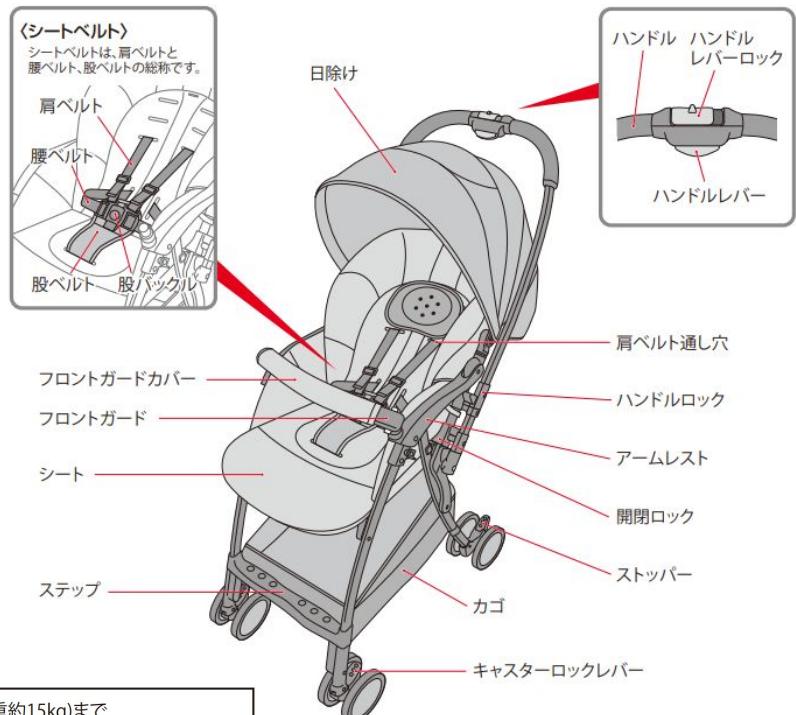
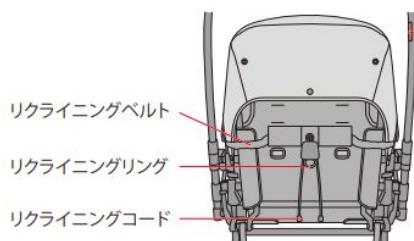
A型車いす カルーンエアー メッシュ

Aprica カルーンエアー メッシュ
取り扱い説明書引用

カルーンエアーメッシュ(A型ベビーカー)の各名称

製品の特徴

- ・ハンドル：背面・対面切替え式
- ・カゴ耐荷重：5kg

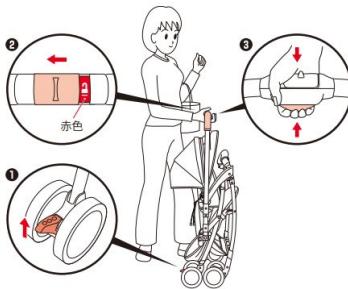


使用範囲	生後1ヶ月 [*] ～36ヶ月(体重約15kg)まで
適合基準	SG基準A形
望ましい連続使用時間	寝かせた姿勢:2時間以内 座らせた姿勢:1時間以内

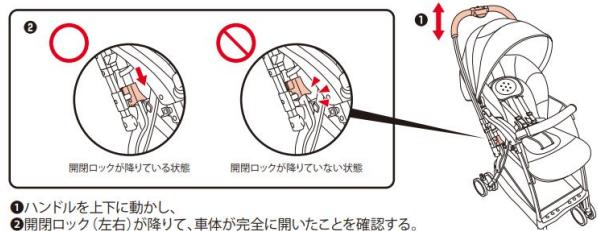
*ここでいう生後1ヶ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1ヶ月を経過した乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

開き方

1 開く前に



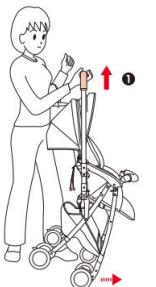
- ①ストッパーをロック解除する。(P8参照)
- ②ハンドルレバーロックを解除する。
(■赤色が表示されます。)
- ③ハンドルを軽く下に押し付けハンドルレバーを握って押し込み、開閉ロックを解除する。



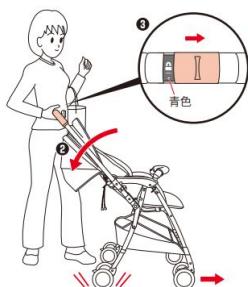
- ①ハンドルを上下に動かし、
②開閉ロック(左右)が降りて、車体が完全に開いたことを確認する。

△警告 ご使用時は開閉ロックが完全に下まで降りていることを確認する。
ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

2 開く



- ①握ったまま、後輪が地面より離れるまで持ち上げる。



- ②そのままハンドルを手前に引いて開く。
- ③ハンドルレバーロックをかける。(■青色が表示されます。)

ストッパーの使い方

△警告 お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右ともロックすること。
お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようになってるものではありません。
ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

△注意 お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右ともロックしてください。

〈ストッパーをロックする場合〉



- ①車輪のストッパーを押し下げてロックする。(左右)
- ②前後に動かしてストッパーのロックがかかるていることを確認する。

〈ストッパーをロック解除する場合〉

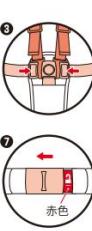
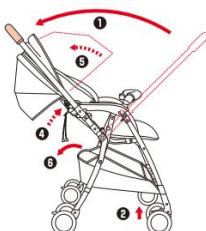


- 車輪のストッパーを押し上げて解除する。(左右)

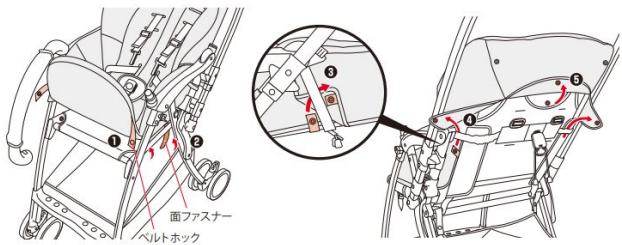
折りたたみ方

1 折りたたむ前に

・フロントガードを開いて、股パックルの解除ボタンを押し、腰ベルト、肩ベルトを股パックルから外す。



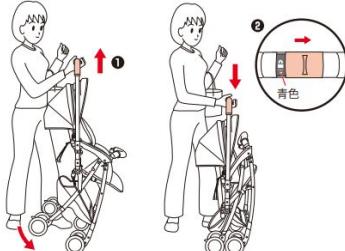
- ①ハンドルを背面に戻す。(P9参照)
- ②左右のキースターをロックする。(P10参照)
- ③肩ベルト、腰ベルトを股パックルに差し込む。(P11参照)
- ④背もたれを起こす。(P14参照)
- ⑤目除けを閉じる。(P16参照)
- ⑥カゴから荷物を取り出す。
- ⑦ハンドルレバーロックを解除する。
(■赤色が表示されます。)



2 ロックの解除



3 折りたたむ



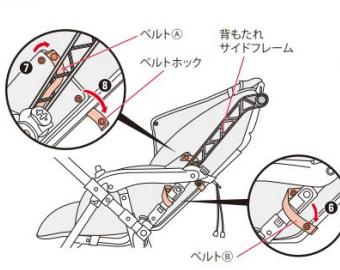
- ①握ったまま、ハンドルを持ち上げ、ハンドルを降ろして折りたたむ。
- ②ハンドルレバーロックをかける。(■青色が表示されます。)



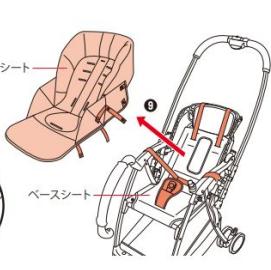
片手で折りたたみづらい場合は、もう一方の手でフロントガードを持って折りたたんでください。

- ①シート座面前方裏側のベルトホック(左右)を外す。
- ②シート座面後方裏側の面ファスナー(左右)を外す。
- ③シート側面のホックを外す。(左右)

※ハンドルを対面に切り替えると、作業しやすくなります。(P9参照)



- ④シートをリクライニングベルトの内側から引き抜く。(左右)
- ⑤シート背面中央のホックを外し、前方へめりくらげる。



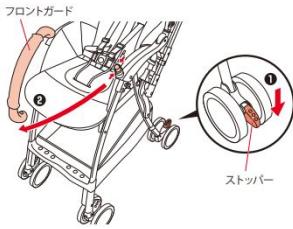
- ⑥座席脇のフレームからベルト⑧のホックを外す。(左右)
- ⑦ベルト⑧のホックを外し、背もたれサイドフレームからベルトを引き抜く。(左右)

- ⑧ベルトホックを外す。(左右)
- ⑨ベルトと腰ベルト、肩ベルトをシートから引き抜き、シートを取り外す。

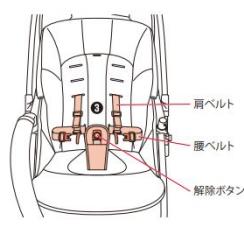
※ベースシートは取り外できません。

お子様の乗せ方

1 準備

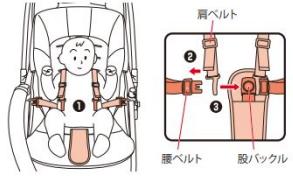


- ①ストッパーをロックする。(P8参照)
②フロントガードを開く。(P9参照)



- ③肩ベルト、腰ベルトを外す。
・股パックルの解除ボタンを押して腰ベルト、肩ベルトを外す。

2 お子さまを乗せる



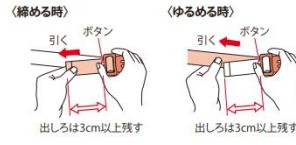
- ①お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せる。
②肩ベルトを腰ベルトに差し込む。
③腰ベルトを股パックルに差し込む。
④腰ベルトを股パックルに差し込む。
⑤左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。
※肩ベルトと腰ベルトの長さは、お子さまの体格と姿勢に合わせて調節してください。(P12参照)

●肩ベルトは装着時に警告音が鳴ります。
・ベルトを差し込むときに肩ベルトがねじれていなかつ確認してください。

警告
シートベルトを締めた後は、左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落っこかることがあります。
腰ベルトは必ず腰ベルトに差し込んで使用し、フリーにさせないでください。
・腰ベルトを股パックルに差し込む。
・腰ベルトを締めている時、お子さまの手足や衣服を挟まないよう注意してください。
・予期せぬ行動が危険事故につながるおそれがあります。
・お子さまの股間を腰ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りするとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

3 ベルトの調節

腰ベルト

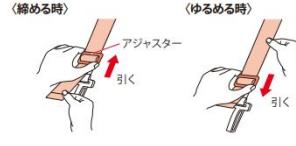


- ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

腰ベルトの調節の目安



肩ベルト



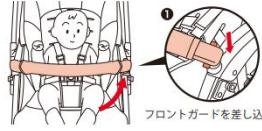
- アジャスターを引き、長さを調節する。

肩ベルトの調節の目安



警告
・肩ベルト、腰ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
・腰ベルト、腰ベルトをゆるめる場合は、締めても立ち上がり、お子さまが落ち下るおそれがあります。
・腰ベルトの末端の出しろ(←部分)は必ず3cm以上残す。
・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。
・フロントガードを閉じる時にお子さまの指を挟まないよう注意すること。
・フロントガードを装着した後、確実にロックされているか引っ張り、確認する。
・お子さまを乗せたまま、フロントガードを持ち上げない。

4 最後に



- ①フロントガードを閉じる。



- ②ストッパーのロックを解除する。

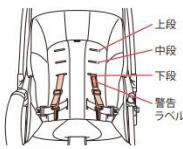
各種調節

△警告

・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

〈肩ベルト位置〉

・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



〈肩ベルトの目安〉

・肩の位置より下段に通す。



・肩ベルトの位置は以下の3段階に調節してください。

月齢の目安	肩ベルト通し穴位置
18ヶ月～36ヶ月	上段
7ヶ月～18ヶ月	中段
1ヶ月～7ヶ月	下段

※上記表示は目安であり個人差があります。

肩ベルトの高さ調節のしかた

・シートベルトのバックルを解除して、肩と腰のベルトを分離しておきます。

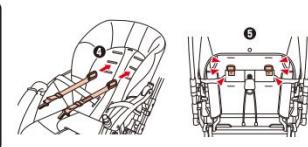
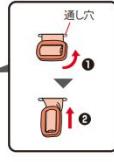
確認ポイント

〈ベビーカー背面〉



・左右の肩ベルトは同じ高さに。
・警告ラベルが表に来る。
・肩ベルトがねじれていなことを。

・背面から見て左側に「左」、右側に「右」のラベルの付いた肩ベルトが通っている。



①通し穴に対して肩ベルトのアンカーを図のよう
な向きになるようにひねる。
②そのまま通し穴にアンカーを通して、
③穴の反対側からアンカーを引き出す。

④使用する高さの通し穴にアンカーを通して、背面
側に引き出す。
⑤肩ベルトを2～3回引っ張り、肩ベルトが外れない
ことを確認する。

・リクライニングの角度調節機能は、お子さまの姿勢を快適に保つことをサポートします。

〈リクライニング位置の目安〉

※下記表示は目安であり個人差があります。

月齢／対象の目安	リクライニングの位置
1ヵ月～首がすわるまで	一番倒した状態
首がすわってから、ひとり座りできるまで	一番倒した状態～中間位置
ひとり座りてできたら	一番倒した状態～一番起こした状態

〈一番起こした状態〉



〈中間位置〉



〈一番倒した状態〉

・背もたれを一番倒した状態にすると、ヘッドレストが起きます。
・一番倒した状態では、お子さまが乗って平らになるように設計されています。

背もたれを倒す時

- 肩ベルトをゆるめる。(P12参照)



- 片方の手でお子さまを支えて、リクライニングリングを引く。
●リクライニングリングを引きながら背もたれを倒し、角度を調節する。

- リクライニング調節後、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。(P12参照)

警告
・リクライニングの調節は、平坦で安定した場所で、
ベビーカーを停止した状態で行なう。
・お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行なう。
・リクライニング調節時は、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。
・背もたれを一番倒した状態でもお子さまが立ち上がり、落ち下るおそれがあります。

注意
・お子さまを乗せたままリクライニング調節をする時は、お子さまの体重を支え、常に角度が変わらないように注意する。
・ひとり座りができるないお子さまは、背もたれを倒して使用する。

〈お子さまの頭がヘッドレストの起き上がり位置より上まで来るようにならった時〉



- お子さまが無理な姿勢にならないよう、リクライニング角度を起してご使用ください。

背もたれを起こす時



- お子さまの体重が背もたれにかかるついていない状態で、リクライニングコードを左右に引く。
・リクライニングコードは片側ずつ引かず、左右同時に引いてください。

警告
・リクライニングコードを過度に引きすぎない。
本体や部品が変形したり、破損するなどして
思わぬ事故の原因になるおそれがあります。